

【この授業を受講した理由、きっかけ①】

・ 京都出身ではなく、大学進学を機に京都で生活するようになり、**京都にいたからこそ経験できることをしたい**と考えたから。また、日本史を専攻していたこともあり、**時代祭の歴史に興味を持った**ことも理由の一つ。（2022年度受講生）

・ 京都の歴史に興味があり、**お祭りが楽しそう**だと思ったから。（2013年度受講生）

・ 公務員志望であり、**自分の目で地域社会を見て、その実態を知りたかった**から。（2020年度受講生）



【この授業を受講した理由、きっかけ②】

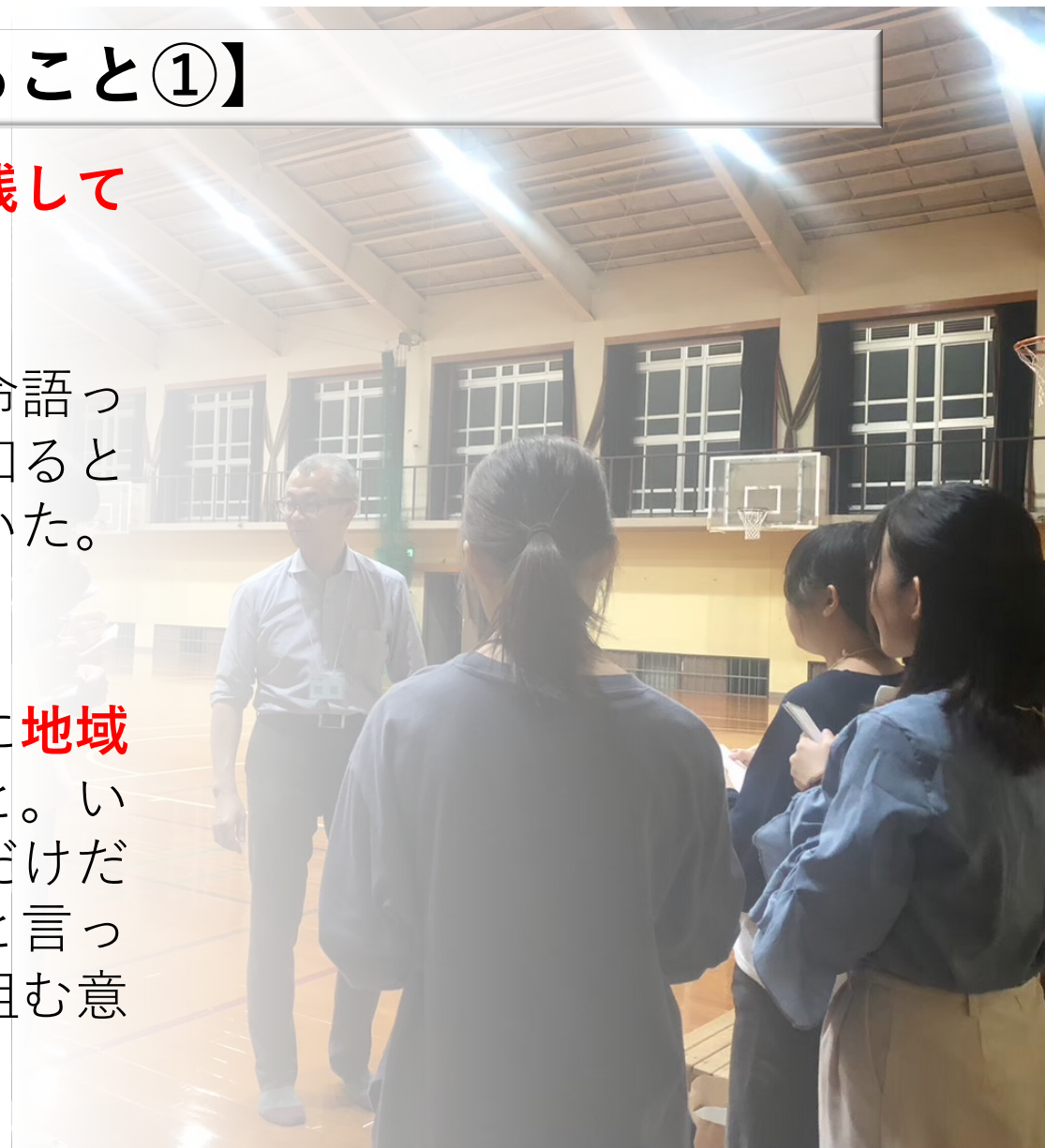
- ・過年度受講生の先輩方から話を聞いて面白そうだと思ったから。個人的に**京都らしいことを経験したい**と考えていたから。（2022年度受講生）

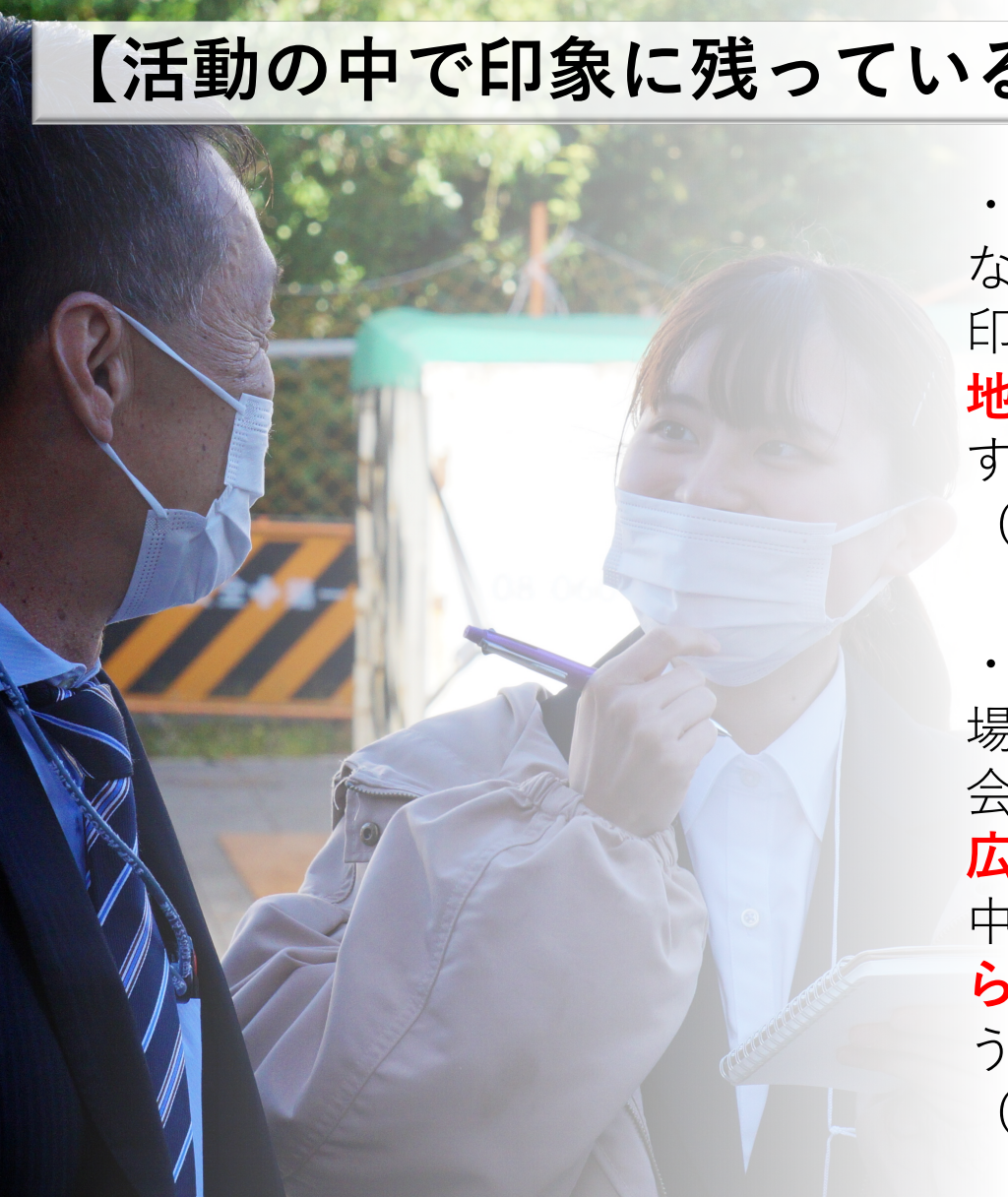
- ・ボランティア活動を通して、**地域の行事や人と関わりたい**と思ったから。また、京都に数年住んでいるものの、**自分の住んでいる街について何も知らない**と思ったから。（2023年度受講生）



【活動の中で印象に残っていること①】

- ・ **地域の皆さんの力で文化や伝統を残している**こと。（2021年度受講生）
- ・ 学区役員が時代祭について一生懸命語ってくださったこと。**京都の奥深さ**を知るとともに、そんな思いがあるのかと驚いた。（2013年度受講生）
- ・ 防災訓練のお手伝いをしていた際に**地域の方から感謝の言葉をかけられた**こと。いつも同じ年齢層の人たちが参加するだけだから若い人が参加してくれて嬉しいと言っていただき、自分たちが活動に取り組む意義を感じられた。（2023年度受講生）





【活動の中で印象に残っていること②】

・ 京都に住んでいるだけでは知ることのできなかった様々な地域活動に参加できたことが印象に残っている。実際に経験したことで、**地域のつながりや支え合いの価値**を深く理解することができ、貴重な経験になった。

(2023年度受講生)

・ 活動の中で出会う人の多くが、それぞれの場でそれぞれの想いを持って行動されており、会って話をするたびに**自身の視野や価値観の広がりを感じられる**ことが楽しかった。その中である方が仰った「**何が得られるかはわからないけど、とりあえず参加してみる**」という言葉が、今も行動の指針になっている。

(2020年度受講生)

【活動の経験が今に生きていると思うこと、瞬間①】

・受講当時は自分のやりたいことが見つかっていなかったが、**地域活動を通して防災の重要性を学び、それを広げたい**という思いを抱くようになった。その思いが防災機器メーカーへの就職につながり、今のキャリアを形成する上での指針になっている。（2023年度受講生）

・京都での地域活動では、防災訓練や地域行事を一部の方が中心となって支えており、特定の人に負担が集中している状況を目の当たりにした。その際に、「なぜ負担が偏っているのか」「どうすれば地域全体で協力しやすくなるのか」を考えながら活動したことが印象に残っており、現在の仕事でも、**単に目の前の課題に対応するだけではなく、背景や原因まで考える**ことを意識している。（2023年度受講生）

・歴史や伝統の継続については、企業や行政では優先度が落ちてしまい実施できない部分も大きく、**地域社会の力を知れた**ことは社会人としてのビジネス観にも役立っている。（2019年度受講生）

【活動の経験が今に生きていると思うこと、瞬間②】

- ・企画を行う中での**巻き込み力**や**対話し相手を理解する**ことを意識的に行うという「意識面」が活きている。（2021年度受講生）
- ・現在は京都を出て他府県で仕事をしているが、実際に取引先に**足を運び対話をする**こと、**実際に見て聞いたことをさらに還元すること**を、現在の営業職としての仕事で大切にしている。地震大国の日本だからこそ、地域社会が必要とされ、かつ地方を強くしていきたいと思い仕事を通じて取り組んでいる。（2022年度受講生）
- ・**進路が変わった**。元々、地元の公務員を進路として考えていたが、この活動で感じたことや出会った人がきっかけで京都で働きたいと思うようになり、現在の職場を選んだ。また、業務外でも地域社会と関わっている公務員は多くなく、働くうえでの**自分自身の価値観の幅が広がっている**と感じる。（2020年度受講生）
- ・地域の方々へのインタビューを通して、**相手の話を聞きながら必要な情報を引き出すことの大切さ**を学んだ。（2022年度受講生）